



な か も ず

編集・発行 大阪府立大学名古屋校友会広報委員

名古屋校友会会長挨拶

名古屋校友会会長 伊藤 聡(79年工・船舶)

名古屋校友会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年は、大阪公立大学が4月に開学し、大阪公立大学校友会が6月に設立され、未来に向けた新たなスタートの年となりました。一方でウクライナへのロシア侵攻が始まり凄惨な戦況が続くとともに、国内ではコロナ第七波・第八波の爆発的な感染拡大、温暖化による夏の猛暑と豪雨、資源高と物価上昇など、平穏で安全安心な暮らしの大切さを今更ながら痛感させられる一年でございました。

私達名古屋校友会の活動については、コロナ禍の中、2022年10月2日に総会・懇親会を3年ぶりに対面で開催し、3年ぶりということもあり大いに盛り上がり懇親を深めていただきました。やはり対面に勝るものはないと感じました。

しかしながら、他の活動については、オンラインが中心で、対面はゴルフ同好会のみという状況が続いています。通常活動が行われた2019年度は年間で延べ200人を超える会員の皆様の参加をいただいております。今後は、基本活動メニューを全て対面で実施していくことも可能だと考えております。一日も早く通常の活動に戻ることを願ってやみません。

2023年の総会は、対面で開催いたします。是非とも、より多くの会員の皆様のご参加をいただき、大いに盛り上がり懇親を深めていただければと思います。

さて、引き続き大阪府立大学校友会は存在し、支援をいただいておりますが、大阪公立大学校友会設立後の地域組織としての立ち上げが2024年4月に求められています。今後、会員在住地域がほぼ同一の市立大学全学同窓会愛知支部様との融合を具体的に進めたいと考えております。会員の皆様のご理解ご協力ご賛同を宜しくお願い申し上げます。

いずれにいたしましても、我々地域校友会の存在意義は、活動と参加があること、会員の皆様の活動への参加があり継続されること、世代を超えた気軽に楽しく和気あいあいの参加の広がりだと思っています。今後とも会員の皆様のご理解、ご協力、活動への積極的なご参加、そしてご自愛下さることを、心からお願い申し上げます。



学長挨拶 名古屋校友会の皆さまへ

大阪公立大学 学長 辰巳砂 昌弘

学長の辰巳砂です。名古屋校友会の皆さま、お変わりございませんでしょうか。皆さまとは、昨年8月にこの紙面でご挨拶させていただいた後、10月2日のリアル開催の総会で再びお目にかかることができ嬉しく思っております。当日は「大阪公立大学開学」と題して講演させて頂き、本当に久しぶりのリアル同窓会を楽しませて頂きました。改めて、皆さまには日頃から大学運営にご協力・ご支援賜り厚くお礼申し上げます。

まずは昨年10月以降の大学を振り返らせていただきます。昨年は年度はじめより対面中心で授業を行い、後期も変わらず対面での授業を継続することができ、課外活動もルールを守りながら実施することができました。第7波、第8波の影響は受けたものの、新大学として1年間通して比較的平穏に教育研究活動を行うことができ、ほっとしています。11月には第74回白鷺祭を3年ぶりに従来に近い規模で開催することができました。また、この白鷺祭期間中、大阪公立大学として初となる、対面でのホームカミングデーを開催しました。午前中は中百舌鳥キャンパス、午後は杉本キャンパスをメイン会場とし、応援団や音楽サークルのパフォーマンスや学生と学長による講演等のプログラムを実施し、卒業生の皆さまにリアル開催のホームカミングデーを久しぶりにお楽しみ頂きました。両キャンパスを梯子する参加者も多く、両大学の卒業生が交流する良い機会になったのではないかと思います。今年もこのような趣旨のホームカミングデーを企画していきたいと思っています。

基金に関しては、新しい制度「大阪公立大学・高専基金」が立ち上がり、大阪府のふるさと納税を利用した新つばさ基金と、直接寄付の新夢基金からなっております。皆さまには、創基140年記念事業で大変お世話になり、誠に有り難うございました。今年2023年はまさに獣医学講習所設立から140年目に当たりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。大阪府立の大学のあゆみを確実にWEBサイトや冊子として残すアーカイブス事業、そしてそれらを新大学へ継承して発展させるイノベーションアカデミー事業の二つを柱として取り組んでおります。

最後になりますが、名古屋校友会の皆さまの益々のご健勝とご多幸を祈念し、大阪公立大学への一層のご協力・ご支援をお願いして、ご挨拶とさせていただきます。



校友会会長挨拶

大阪府立大学 校友会会長 仁科 亮子

この3年間は、新型コロナウイルス感染症に翻弄された日々でしたが、名古屋校友会の皆様、ご健勝にお過ごしでしょうか。

昨年3月に大阪府立大校友会会長を拝命し、1年間、戸惑いながら理事会、事務局、大学関係者など多くの皆様方のご支援を頂きながら務めてまいりました。

コロナ禍の中、今年度は、理事会も評議員会もオンラインによる開催を余儀なくされ、校友会懇話会も中止するなど対面の事業は中止せざるを得ませんでした。

このような中、10月に開催の貴名古屋校友会総会では対面とオンライン併用で開催され、津戸副会長（公立大校友会会長代行）、平田事務局長とともに出席させて頂き、対面での交流を有意義に、楽しく過ごさせて頂きました。

また、昨年、11月5日には公立大として初めてのホームカミングデーが開催されました。当日は、学園祭も開催され、晴天の中、多くの学生で賑わう風景を久しぶりに味わいました。中百舌鳥、杉本両学舎で規模や内容は縮小しながらも対面で開催され、中百舌鳥では、辰巳砂学長のご講演や府大、市大の学生による関西万博への出展に関する報告など学術交流会館大ホールに多くの卒業生が出席致しました。午後には在阪の単位同窓会を中心に総会や役員会なども開催され、久しぶりの対面で語りあって頂けたと思います。

さて、今後の府大校友会の活動方針についてご報告致します。昨年12月に開催された校友会評議員会において、会則の変更は行わず、理事会、評議員会の委員構成は継続し、単位同窓会、地域同窓会に対しての経済的支援を継続することになりました。府大校友会として残された2年間に、公立大同窓会への移行のため、更に同窓会活動を充実して頂ければ幸いです。

いずれにしても大阪公立大、公立大校友会と連携しながらの取り組みとなりますが、今年は、府大創基140年を迎えます。府大としての最後の大きな行事ですから、大学と一体となって取り組みたいと考えております。

6月の評議員会において、府大、在学生への支援とともに、創基140年にどのように臨むのかなど理事会の皆様方のご助言を受け、より充実した内容のあるご提案ができればと検討中です。140年記念事業の具体的な開催内容等は、追ってお知らせすることになりますので140年記念事業には、同窓会の皆様方にも是非とも多大なご協力・ご支援をよろしくお願い致します。

6月に開催の貴同窓会総会には事務局長とともに、出席させて頂く予定しております。今後とも地域同窓会活動充実のため、協力させて頂きます。名古屋校友会の皆様、今後ともよろしくお願い申し上げます。



名古屋校友会活動報告

2021年度はゴルフを除くリアルな活動は全て中止となりましたが、2022年度はゴルフに加え3年ぶりに総会を対面で開催する事が出来ました。その他役員幹事会をはじめ、なかもず懇話会・懇親会はオンライン活用で開催しました。

(1) 2022年度総会・懇親会

10月2日、名古屋駅を見下ろす名古屋ルーセントタワー16F TKP ガーデンシティで3年ぶりに対面で開催しました。

第1部では総会に続き、大阪公立大学校友会津戸会長代行による「大阪公立大学校友会設立報告」と仁科府大校友会新会長挨拶、辰巳砂学長による講演「大阪公立大学開学」という、タイムリーなプログラムとし、前年のオンライン総会の経験を活かし、第1部は対面とオンラインのハイブリッド形式としました。

ご来賓は辰巳砂学長、校友会から津戸公立大学校友会会長代行、仁科府大校友会会長、平田事務局長、公立大学から辻本ステークホルダー推進室係長、地域同窓会から東京山田会長、東京都立大学同窓会から大西中部支部長、大阪市立大学同窓会から滋野愛知支部長、北村三重支部長、計9名をお招きし、対面参加者40名に加え、オンラインでは広島岩本会長、岡山黒田会長、東京同窓会2名の他計9名にご参加頂きました。

第2部懇親会は、ソーシャルディスタンスを確保したテーブル配置で、お一人ずつ料理とお酒を準備して開催。名古屋校友会役員幹事応援団で新大学校友会監事でもある香川さん（84年工・機械）の開会挨拶と乾杯のご発声でスタートし、来賓の皆さんからご挨拶を頂戴しました。

3年ぶりの対面懇親会はあっという間に時間となり、堀江副会長の閉会挨拶の後、集合写真を撮影してお開きとなりました。



(2) 第1回オンラインなかもず懇話会&懇親会

2022年7月30日開催

- ・第1部（16:30～18:00）懇話会
 - ・第2部（18:00～19:00）懇親会
 - ・演題：山岳気象遭難の真実～過去と未来を繋いで遭難事故を防ぐ～
 - ・講師：山岳防災気象予報士 大矢庸裕さん
- 講師は津田幹事からの紹介で、14年前キリマンジャロも一緒に登ったデンソー山岳部の仲間の方です。大矢さんは2021年9月にこれまでの山岳気象研究の

成果を織り込んで、ヤマケイ新書「山岳気象遭難の真実/過去と未来を繋いで遭難事故をなくす」を出版され、日本経済新聞、読売新聞、気象学会誌などに書評が掲載されるなど大きな反響を呼んでいます。当日は著書で紹介した過去事例の解説や、将来の気象変動についてどのようなリスクが増大するかを分かり易く説明頂きました。

東京同窓会から山田会長にも参加頂き、第1部参加者は講師含め12名、第2部参加者は9名、欠席ながら11名の方からコメント頂きました。



(3) ゴルフ同好会名仙会

名古屋校友会幹事 佐々木 康年(73 年工・電子)

- ・第79回名仙会 6月2日(木) (会報11号掲載済)
- ・第80回名仙会 10月13日(木)

富士カントリー可児クラブ・美濃ゴルフ場

優勝：串上修三さん(73 年工・電子)



(4) 第2回オンラインなかもず懇話会&新年会

2023年2月4日開催

- ・第1部 (17:00~18:30) 懇話会：参加者15名
- ・第2部 (18:30~20:00) 新年会：参加者13名
- ・演題：小唄・三味線～芸処名古屋～
- ・講師：岡野勝幹事長(74年工・電子)

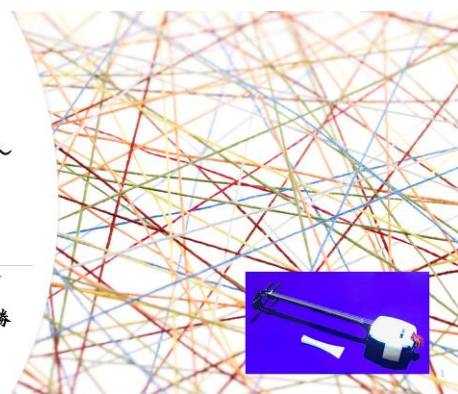
大阪公立大学校友会津戸会長代行、大阪公立大学ステークホルダー推進室村上さん、東京都立大学同窓会大西中部支部長、大阪市立大学同窓会滋野愛知支部長にも参加頂き、総勢15名でスタート。講演は、小唄三味線との出会い、伝統芸能の歴史、三味線音楽・江戸小唄の特色、芸処名古屋の基礎を築いた七代尾張藩主宗治公の政策、本丸御殿復元運動としての春姫道中

等、講師の体験をもとに説明があり、小唄三題『水の出花』『散るは浮き』『五月雨』の弾き語り演奏がありました。

小唄・三味線 ～芸処名古屋～

小唄橋派
橋 彌勝
正調名古屋甚句伝承会
甚 勝彌
こと 岡野 勝

2023年2月4日名古屋校友会主催
なかもず懇話会講演資料



春姫道中

2015年#21尾張藩筆頭家老藤正
2018年#24Final大御所徳川家康



第2部懇親会には、大阪公立大校友会津戸会長代行、大阪市立大学同窓会滋野愛知支部長にも残って頂き、13名の新年会となりました。市大・府大地域同窓会統合に向け懇親を深めることができました。

最後に講師による新年に相応しい端唄『年中行事』の弾き語りがあり、アンコール『梅は咲いたか』でお開きとなりました。



会員登録のお願い

名古屋校友会では年1回の総会の他に、ゴルフ、麻雀、囲碁、ハイキング等趣味の会や、ビアパーティ、なかもず会(講演会)など、メールでご案内しています。

各種行事の開催が決まり次第、メール及び校友会ホームページでご案内します。

メール未登録の方は下記QRコードから、①氏名、②卒業年・学部・学科、③メールアドレスの登録をお願いします。

不明点は幹事迄お問い合わせください。

okano.masaru09031218@gmail.com



会員投稿

(1) フィルムカメラでいこう

香川 佳之 (83年工・機械)

私の趣味は写真です。写真を撮り始めたのは中学2年生からですので、かれこれ48年も続けてきました。主な被写体は『街』。歩きながら直感を頼りに気になっ



た光景を撮るスナップ写真（海外では Street Photography と言います）が好きです。個人情報や肖像権が大変重視される昨今、人物を特定できる写真は大変撮りにくくなりました。それでも、その瞬間の光景を止め、切り取ることは写真の本質だと思いますし、撮影者の目の記録として「何をその時に見て何を感じたか」を残し伝えることができるということは素晴らしいことだと感じます。

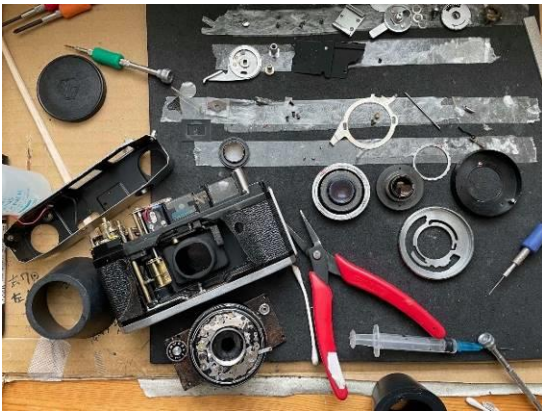
私は今でも「フィルムカメラ」を主に使っています。確かにデジタルカメラで撮るとカメラ任せでもとても綺麗に撮れますし、やり直しも何度もできますので、「写っていなかった」という失敗はまずありません。それに対してフィルム撮影では裏蓋を不用意に開けて感光させてしまうとかフィルム装填をミスしてコマが進んでいなかった等の失敗もしますし、画像もデジタルほど解像度高く撮れません。でもそういった不自由さ不完全さにはむしろ愛着を感じます。それに自分でピント、露出を決め、手で巻き上げる往年の機械式フィルムカメラを使うとすべてを自分が決めるわけですから上手くいったときは達成感を味わうことができます。撮影後は自分でフィルム現像をします。そして出来上がったネガをスキャナーで読み取りデジタルデータにした後は、SNS への投稿やプリンターで印刷して写真展に出品して公表します。昔は、写真の公表と言えば写真展をやるかコンテストに応募するしかありませんでした。今では簡単にインスタグラムやフェイスブックで世界中の人に見てもらい、コメントをもらうことができます。ネットで知り合った趣味仲間もできて大変ありがたいことだと思います。



デジタルカメラが市場に行き渡った 10 年前ぐらいでしょうか。中古のフィルムカメラが実に安価で買えるようになりました。なかには掘り出し物もあり、40 年前は約 8 万円で発売されたニコン F2（冒険家の植村直己が愛用した最上位機種です）の動作品が 2,500 円ということもありました。かくして私は、若かった頃買えなかったあこがれの高級フィルムカメラの中古を求めて、銀座、名古屋、梅田のカメラ店を覗き、ネットオークションを探し回ったわけです。そうこうするうちに、私が「中古フィルムカメラ好き」だという噂が会社の中でも広がり、同僚のお父様や御祖父様がお使いになっていたカメラを引き取って欲しいと頼まれたこともありました。スウェーデン製のハッセルブラッドという高級中型カメラ（1970 年頃製、当時約 40 万円）やライカ（1955 年頃製、当時約 25 万円）まで私の手元に、しかも、タダでやってきたのです。かつてフィルムカメラは一家に一台の耐久消費財でした。それが全部処分されて不用品になったわけですから、私のような数少ないフィルムカメラファンのところにたくさんカメラが集まってくることは、考えてみれば自然な流れでしょう。

調子が悪いカメラは自分で修理します。1970 年頃までの機械式カメラはギヤやスプリング、リンク・カム機構などで作られていますから、注意深く見れば悪いところが分かり直せます。また、樹脂部品も使われていないため部品自体が破損しているものはまず見かけません。つまり、ほとんどのカメラは清掃して注油して再組付けすると復活します。カメラを分解すると、まるでタイムカプセルを開けるように昔の設計者、組立技術者の息吹を感じることができます。廉価なカメラでは当時の設計者がコスト低減に知恵を絞った構造がわかり、高級カメラではその精緻な構造や良質な材料に唸られます。時には、「何故こんな部品を使っているの？この形状は何のため？」と分からないこともあります。その場合は作業を中断して数日間、お風呂タイムにでも「当時の技術者はどうしてこういう構造にしたのか？」と考えます。そうするとある日「そうか！」とひらめく瞬間がやって来ます。その時は当時の技術者から「よくわかったね！」と褒められているようにも感じ、尊敬の念と親近感を覚えます。写真のカメラは約 50 年前、私の父が家族写真を撮ってくれたもので、故障して実家に保管されてものを自分で分解・修理し、今や見事に私の現役カメラの一台になってくれました。





最近の悩みは、フィルム価格が高騰していることです。フィルムメーカーにとっては、需要が激減したフィルムの生産ラインを維持することはとても大変なことでしょう。1本のフィルムと言ってもその構成部品点数は大変多い上、薬品も使うので、販売数が激減するなかで原価を成立させるのが難しいのだと思います。特にカラーフィルムの価格は懐を痛めます。なんと36枚撮り一本が3,000円オーバー。現像をお店に出すとさらに1,200円、自分で現像しても600円。一回シャッターを押したらチャリンと100円玉が落ちるイメージですね。数年前までは若い世代、特に女性の間でフィルム写真は静かなブームになっていました。フィルムならではの優しい描写や金属カメラの手触りが新鮮に感じたそうですが昨今のフィルム価格の高騰で諦める人も多くと聞きます。若い世代に価値がわかる人がいるにもかかわらずマーケットが拡大しないことはとても残念なことです。そして今のデジタルカメラよりはるかに人手をかけて丁寧に作られているフィルムカメラがゴミになっていくことにはどこか理不尽さを感じます。

ところで、このようなフィルムカメラをデジタル社会はどう評価しているのでしょうか？今年に入ってからChatGPTというAI（人工知能）との自然対話サービスが大きな話題になっています。AIは世界中の多くの人が教えたもので回答しますから、まあ、デジタル社会の代弁者とも言えるかと思いつながらChatGPTに質問してみました。

【質問】

人間の感性を育むうえでフィルムカメラは役立つか？

【AIの回答】

(AIの回答のままで手を入れていません)

フィルムカメラは、写真撮影において人間の感性を育む上で非常に役立ちます。フィルムカメラは、デジタルカメラに比べて、より直感的な操作や手作業による現像、そして写真に特有の表現力を持ちます。

フィルムカメラは、限られたフレーム数や撮影枚数により、写真を慎重に構成し、撮影の瞬間を大切に捉えることを促します。また、撮影後の現像や印刷作業を通じて、写真の表現力や色味、質感などを自分自身でコントロールすることができます。そのため、フィルムカメラを使うことで、写真撮影における創造的な

プロセスに深く関与することができ、写真撮影における感性や美意識を育むことができます。

また、フィルムカメラを使うことで、撮影した写真がすぐに確認できないため、写真撮影に対する集中力や熟考する力が養われるという利点もあります。また、フィルムカメラの特性を理解することで、撮影者はより深い知識と技術を身につけることができ、創造的な表現力を高めることができます。

そのため、フィルムカメラは、写真撮影における感性や美意識を育むために非常に役立ちます。フィルムカメラでの撮影を通じて、写真撮影に対する熟考や集中力、創造的な表現力を高めることができます。

いやはや、すごいですね。AIはわずか数秒で私が普段から感じているフィルムカメラの魅力を実に見事に整理してくれました。とは言ってもAIは嘘をつくことも多くありますから回答を鵜呑みにしてはいけません。フィルムカメラを使うと五感が刺激されます。また、スキャナーやスマホ、SNSなど、デジタル時代の恩恵を受けることで、かつてのフィルムカメラ全盛の頃ではできなかった奥深い趣味になっていることをご理解いただけたと思います。これからどんどんAIの時代が加速することでしょう。そのような時にこそこういうアナログな趣味はとてもいいと思っています。

以上、少々マニアックな趣味の話題で恐縮ですが最後までお読みいただき本当にありがとうございます。

『フィルムカメラによる写真』という趣味は、まさに温故知新。さらに一粒で何度でも美味しさを味わいたいへん深さがある面白い趣味だと思います。もし、ダンスに眠っているフィルムカメラがご自宅にありましたら是非とも取り出して触ってみてください。きっと「何か」を感じていただけたと思います。

(2) オーストラリア海外視察紹介

木野瀬 和香子 (02年工・材料)

昨年秋、とある経済団体のオーストラリア海外視察に参加してきましたので、ご紹介させていただきます。

資源大国であるオーストラリアでは、多くの採掘場を所有しているイメージが強かったのですが、カーボンニュートラル時代に向け、国運を賭けて、化石燃料から再生可能エネルギーや水素ビジネスなどへの転換がされていたことに驚きました。水素ガス生産施設の見学や在豪日本大使館での情報交換では、周辺の強権国家との緊張感の増加という背景もあり、かつてない熱量で日本との共存共栄を切望されました。再生可能エネルギーに不利な地形や気候である日本にとっても、資源豊かなオーストラリアとの関係は重要であり、このチャンスを逃す手はないと強く感じました。

電子政府ランキングにおいて、オーストラリアは日本と比較しても、上位に位置しているデジタルリテラシーの高い国です。メルボルン大学が手掛けるスマートシティ実証実験現場を見学しましたが、中心部約100kmに点在する75の交差点にデバイスを設置し、交通関連の様々なデータを収集、分析し、事故や渋滞の無いエコシステムを構築していました。自転車や歩

行者が円滑に横断するためのサポートや、バスや物流トラックの積載情報等の収集、市内を走行するトラム（路面電車）にもカメラが取り付けられ、タイムリーに事故状況や渋滞情報の収集を行っていました。これらの取組みは大学単独で行えるものではなく、産官学の強い一体感があってこそです。我々日本人も、見習うべきと反省しました。

循環型社会の視察という名目で、パース沖合約18kmのインド洋に浮かぶ島であるロットネス島も訪問しました。島の電力を賄う風力や太陽光発電施設や、水不足を補う海水淡水化施設も見学しましたが、一番のお目当ては、この島にのみ生息するクオッカです。クオッカは、体長40～50cmで写真の通りねずみに似ていますが、お腹に袋を持つカンガルーの仲間です。警戒心がなく、人間のすぐ傍まで近寄ってきてくれる一方、警戒心がないため、他のエリアでは絶滅してしまったという悲しい生き物です。この島では、クオッカ保護のため、接触（クオッカから触られるのはOK）や餌やりが禁止されており、そこかしこにクオッカが歩いていました。口角が上がっているためか、

「世界で一番幸せな動物」と言われており、見る私たちが幸せな気分になりました。なお日本でもいくつかの動物園でクオッカに会えます。視察当時は3回のワクチン接種が必須であったりと、海外渡航には様々な対応が必要でしたが、規制も徐々に緩んできており、現地に幸せを求めて会いに行かれるのも良いかもしれません。



（木野瀬撮影）

（3） どうする？ ドローン国家資格

名古屋校友会幹事 仲谷 哲郎（79年工・機械）

みなさん、ドローンが飛んでいるのを見たことがありますか？ 私はドローン関係のイベント、仕事と自分で飛ばしている場面ではしか見たことがありません。

私の飛行撮影範囲は所属テニス倶楽部のテニスコート、家族関係の音楽学校、菩提寺など個人的箇所です。

中々、見る機会の少ないドローンですが、実業（農業、建築土木、物流など）での利用が盛んになっています。それに伴い、2022年12月5日より国家資格である「無人航空機の操縦者技能証明制度（操縦ライセンス制度）」が開始されました。

これは、1. 運送業界においてはトラックドライバーの不足解消、2. 飛行許可申請承認作業の削減が狙いであり、ドローンが活躍しやすくなると考えられます。ドローンの飛行形態は4つのレベルがあります。

- ・レベル1：目視内での手動操縦飛行
- ・レベル2：目視内での自動/自律飛行
- ・レベル3：無人地帯における（補助者なし）

目視外飛行

- ・レベル4：有人地帯における（補助者なし）

目視外飛行

ドローン国家資格は、一等無人航空機操縦士（一等資格）と二等無人航空機操縦士（二等資格）があります。この度、レベル4が一等資格で飛行可能になりました。宅配がドローンで行えるということです。

国家資格を持っていると、飛行申請が不要になったり、簡略化される、飛行場所での立入禁止措置の緩和などがあります。また、夜間飛行は国家資格がないと行えません。都市部では飛行申請が必須です。

テニス倶楽部で施設説明のため庭球場全景の撮影を依頼され、飛行申請（愛知県全域、1年間）を行いました。



名城庭球場全景（120m上空から撮影）

さて、ドローン国家資格を取得すべきか？

高校同級生の会社は建設資材の販売、補修を行っており、社員数人が民間資格を取得しています。建物補修の確認には高所に登る必要があり、ドローンが有益です。自治体が受注条件として国家資格を要求してくる傾向にあるそうです。仕事ですから必須になります。

写真スタジオは学校行事や会社施設撮影など頼まれてきたとのこと。これらをアルバイトで行うとすると国家資格が印籠になるでしょう。

所属テニス倶楽部は、ジュニア選手の育成に力を入れており、全仏オープン、全豪オープンなどのジュニア部門に出場しており、そのコーチングや、紹介にドローンが役立つと思っています。選手が学生のため、練習がナイターになる時があります。夜間の撮影は二等資格がないと行えません。必要ですね。

二等資格講習は2～3日で、7万円～数十万円の費用がかかります。10時間以上の操縦経験を課されており、経験があると講習費が安くなります。まずは、操縦訓練に励もうと思っています。



名城庭球場上空から新愛知県体育館方面を望む

2022 年度収支計算書

(2022. 4. 1～2023. 3. 31)

単位：円

収入の部		予算	実績	差異
	総会参加費合計	337,000	256,000	-81,000
会員参加費	325,000	229,000	-96,000	
その他関係者参加費	12,000	27,000	15,000	
活動協力金	80,000	94,000	14,000	
校友会本部支援金収入	210,000	210,000	0	
校友会本部補助金収入	100,000	100,000	0	
前期繰越金	838,291	838,291	0	
収入合計	1,565,291	1,498,291	-67,000	
支出の部		予算	実績	差異
	総会費・懇親会費	500,000	414,066	-85,934
通信費	190,000	174,850	-15,150	
振込手数料負担金	10,000	11,840	1,840	
消耗品費	10,000	15,180	5,180	
会合費	50,000	10,000	-40,000	
印刷費	37,000	45,040	8,040	
旅費交通費	10,000	20,620	10,620	
行事補助金	85,000	20,000	-65,000	
雑支出	0	825	825	
支出合計	892,000	712,421	-179,579	
次期繰越金	673,291	785,870	112,579	

次期繰越金の内訳

現金	35,997
ゆうちょ銀行振替口座	749,873
合計	785,870

2022 年度事業報告 (2022. 4. 1～2023. 3. 31)

活動内容、開催回数、参加延べ人員

- ・名古屋校友会役員幹事会 zoom 会議：7 回、74 人
- ・なかもず懇話会 zoom 会議：2 回、26 人
- ・名仙会ゴルフコンペ：2 回、20 人
- ・総会・懇親会：1 回、49 人

○令和 5 年 4 月 7 日、名古屋校友会加藤正樹監事による会計監査が行われ、2022 年度収支計算書は正確かつ適正であると認められました。

2023 年度実施事業計画 (2023. 4. 1～2024. 3. 31)

- ・名古屋校友会役員幹事会 zoom 会議：7 回
- ・総会・懇親会：1 回 (6 月)
- ・なかもず懇話会：対面 1 回+オンライン 1 回
- ・名仙会ゴルフコンペ：2 回 (6 月、11 月)
- ・囲碁同好会：2 回
- ・麻雀同好会：2 回
- ・山遊会ハイキング：2 回
- ・ビアパーティ：1 回 (8 月)
- ・忘年会または新年会：1 回

2023 年度収支予算案

(2023. 4. 1～2024. 3. 31)

単位：円

収入の部		予算	前年実績	差異
	総会参加費合計	319,000	256,000	63,000
会員参加費	280,000	229,000	51,000	
その他関係者参加費	39,000	27,000	12,000	
活動協力金	94,000	94,000	0	
校友会本部支援金収入	210,000	210,000	0	
校友会本部補助金収入	100,000	100,000	0	
前期繰越金	838,291	838,291	0	
収入合計	1,561,291	1,498,291	63,000	
支出の部		予算	前年実績	差異
	総会費・懇親会費	450,000	414,066	35,934
通信費	172,000	174,850	-2,850	
振込手数料負担金	10,000	11,840	-1,840	
消耗品費	10,000	15,180	-5,180	
会合費	50,000	10,000	40,000	
印刷費	41,000	45,040	-4,040	
旅費交通費	20,000	20,620	-620	
行事補助金	90,000	20,000	70,000	
ネットワーク費	10,000	0	10,000	
雑支出	0	825	-825	
支出合計	853,000	712,421	140,579	
次期繰越金	708,291	785,870	-77,579	

行事補助金内訳

同好会名・行事名	予算金額	備考
なかもず懇話会	10,000	年 1 回ライブ開催+オンライン
名仙会コンペ	20,000	年 2 回開催
囲碁同好会	10,000	年 2 回開催
麻雀同好会	20,000	年 2 回開催
山遊会ハイキング	10,000	年 2 回開催
ビアパーティ	10,000	8 月開催
忘年会または新年会	10,000	年末或いは年始開催
小計	90,000	

行事補助金は、囲碁を除き、ほぼ例年通りの活動を見込んだ予算としています。

以上

編集後記

昨年 6 月に府立大学と市立大学の卒業生で構成する同窓会「大阪公立大学校友会」が設立されましたが、今後は地域同窓会においても大きな変化が起こりそうな兆しです。これまでに名古屋校友会の総会や行事に参加されたことのない皆様もぜひご参加いただき、名古屋校友会が幅広く親交を深める場になることを切に願っております。

梶田 真哉 (99 年経・経済)

仲谷 哲郎 (79 年工・機械)